

船舶事故等調査報告書

平成25年12月19日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013仙第63号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年9月19日 10時05分ごろ
発生場所	福島県猪苗代湖の猪苗代町 <small>おきな</small> 翁島東方沖 猪苗代町所在の名倉山二等三角点から真方位108°1,150m 付近 (概位 北緯37°30.6′ 東経140°02.6′)
事故等調査の経過	平成25年9月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	警備艇 きびたき、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	280-29492福島、警察庁
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	プロペラに破損及び曲損
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、猪苗代湖を巡回するために翁島港マリーナを出航し、翁島東方沖を航行中、船長が、同沖付近の水深が浅いことを知っていたので、岩の有無を目視で確認していたが、岩が見えず、航行を続けていたところ、平成25年9月19日10時05分ごろ船尾部が水面下の岩に乗り揚げて通過した。 本船は、乗揚後、主機は運転できるが、プロペラが回らなくなり、運航不能となって漂流し、翁島港マリーナに携帯電話で救助要請を行い、同マリーナのモーターボートにえい航され、同マリーナに着岸した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風速 約1.0m/s、視界 良好 海象：湖上 平穏
その他の事項	猪苗代湖の水位は、本事故当時、高いときよりも約50cm低かったが、船長は、出航前に水位の確認を行っておらず、このことを知らなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、翁島東方沖を航行中、船長が猪苗代湖の水位が低くなっていることを知らずに航行を続けたことから、水面下の岩に乗り揚げたものと考えられる。

	<p>船長は、航行中に岩の有無を目視で確認したが、岩が認められなかったため、航行できるものと思い、航行を続けたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、翁島東方沖を航行中、船長が猪苗代湖の水位が低くなっていることを知らずに航行を続けたため、水面下の岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、出航前、航行する水域の水位を確認しておくこと。